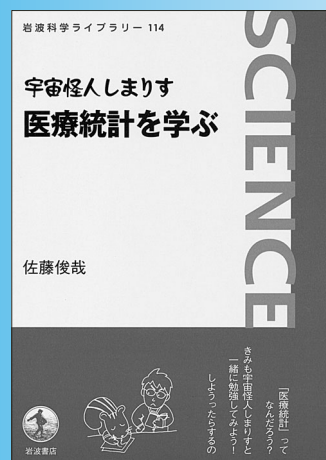


統計に対する苦手意識をもっている 保健師や学生に最適

【評者】塩見美抄 神戸大学大学院医学系研究科博士後期課程

宇宙怪人しまりす
医療統計を学ぶ

佐藤俊哉(著)



定価 1,260 円(本体 1,200 円+税 5%)
B6判, 124 ページ
岩波書店(Tel.03-5210-4000)

地域の健康課題の明確化や保健事業の評価など、保健師はその活動の至る場面で統計知識を必要としている。しかし、多くの保健師は、学生時代からの統計に対する苦手意識を拭い去れない。この苦手意識の原因は何だったのかと思案してみると、恐らく統計の基礎を十分に理解しないまま、難解な計算式を学んできたためではないかと思えてきた。そう、基礎の時点での躓きが問題だったのだ。本書は、そんな基礎学習の躓きを克服したい保健師や、地区診断を学び始めた学生に最適である。

まず本書がほかの統計に関する書と異なる点は、読み進めやすい設定と構成にある。本書は、宇宙怪人しまりすが先生(著者)のもとに統計を学びに来たという、ユニークな設定で始まる。その後は、しまりすと先生との対話形式で展開される。読者は、まるでNHK教育TV「〇年生の数学」を見ている気分で、楽しみながら読み進め、しまりすと共に理解を深めていける構成になっている。

本書の内容は、統計の基礎知識のなかでもとくに、実践の場で用いられることが多いものや、今後知識を深めていくうえで重要なものに、焦点が当てられている。具体的には、比、割合、率の違いから始まり、死亡率の計算、服薬効果の検証、疾病原因を調べる疫学統計、オッズ比までが、9つの対話を通じて説明されている。全般的な印象として、具体例や図表を用いながら丁寧に説明されており、難解さを感じにくい。読者が躓きやすい場面では、しまりすが読者に代わって誤回答を言い、先生の追加説明がなされるようになっている。また、単に統計用語の意味や計算式のみでなく、各統計手法の適切な使途についても言及されているので、実践場面への応用を助ける。欲を言えば、本書の付録として応用問題集などを付けてほしいところである。さらに、読者の理解を助ける工夫として、3話ごとに復習ノートが挿入されている。復習ノートでは、しまりすが先生から学んだ統計知識の要点が簡潔にまとめられ、参考文献も記載されている。しかし、本書と提示されている参考文献との間にかかなりの難易度の差を感じるので、もう少しやさしい文献の提示を望む。

難解な統計計算を学ぶ前に、ぜひ本書を一読し、基礎をしっかりと押さえておきたいものである。ちなみに、本書は総ページ数124と薄く、B6判で軽い。通勤かばんのなかに入れ、ちょっとした時間に読むのにも最適だ。